

もうすぐクリスマス

結城一高の図書館に一足早くクリスマスがやってきました！
クリスマスの飾りと共にクリスマスに関する図書も展示しています！



【先生方おすすめの本】

1 学年担任の先生方にお勧めの本を伺いました。

「コウノドリ」 鈴ノ木ユウ（講談社）

1 年 1 組担任 佐藤 由法 先生



10 月からテレビドラマになって放送されていたので、知っている人もいます。

「出産は病気ではない。だからみんな、幸せなものだと思い込んでいる。出産は奇跡なんだ。」

作品に出てくる言葉です。ドラマやマンガの中の特別な話ではなく、将来の自分にも十分起こりうる現実として描いてあるので一読してみてはいかがでしょう。

「^{となん}図南の翼（十二国記）」

小野不由美（新潮文庫）
1 年 2 組担任 前川 紗織里 先生

「本当に、行くのか？」「行くわよ。恭には王が必要なんだから。」珠晶（しゅしょう）は恭国の富豪の娘。王が倒れ神の守護がなくなって、妖魔がはびこる恭。次の王は”昇山”した者から選ばれる。人を喰う妖魔だらけの厳しい道程をこえ、珠晶は無事昇山した王となれるのか？

古代中国にも似た文化が花開く、異世界。神仙がいて、妖魔がいる。十二の国は花びらのような形をして、十二の王が統べている。これは、そのうちの恭国のお話。

神仙がいるからできることがあり。妖魔がいるからできないことがある。ファンタジーなんだけれど、そここのところがなんだからリアルで私はいつも「ああ私が王に選ばれたらどうしよう」なんて、現実とごっちゃにしてハラハラしてしまう、魅力だらけの本なのです。

「はじめての天文学」 半田利弘（誠文堂新光社）

1 年 4 組担任 藤平秀一郎 先生

天文学は興味を持つ人が多い反面、難しいと思われがちな学問であると思います。

そんな天文学を基本からわかり易く解説してくれるのがこの本です。掲載されている写真がとてもきれいで、誰もが宇宙の魅力に取りつかれます。

宇宙はどのように形成されたのか、これからどのように変化していくのか。このような壮大なテーマから一つ一つの惑星の様子という細かいテーマまで、宇宙に関する疑問に答えてくれる一冊です。ぜひ皆さんも読んでみて下さい。

「猫とあほんだら」

^{まちだ こう}
町田 康（講談社）
1 年 3 組担任 大川 洋 先生

著者は伝説的パンクバンド「INU」のリーダーで現在も音楽活動を続けています。彼の書く文章も、とてもテンポ・リズムが良く、音楽を聴いているような感覚になります。

この本は著者とその飼い猫たちの暮らしが中心ですが、現代版「我が輩は猫である」と言える描写もあり、我が家の飼い猫もこんなことを考えてるのかなぁと思いながら、楽しく読めました。猫好きと音楽好きには必読です。



先生方、お忙しいところご協力本当にありがとうございました！
それぞれの個性がよくわかる推薦本で面白いですね！

図書館便り

今回は 1 年担任の先生方と図書委員が
いろいろな本をご紹介します。

平成 27 年 12 月 発行
担当：1 年図書委員

↓ 何度読んでも面白い！

【1 年図書委員お勧めの本】

今年はこれが一番だった！

「アウトランダー」 ダイアナ・ガバルドン 作

私が何回読んでも面白いと思う本は、ダイアナ・ガバルドンの「アウトランダー」です。

主人公のクレアは、第二次世界大戦時に従軍看護婦として働いています。夫のフランクとスコットランドへ旅行中、クレアはとある古代のストーンサークルを見に行きます。そこで彼女が火の石に触れると、18 世紀のスコットランドへタイムスリップして・・・という作品です。

この作品は、テレビドラマになって全米でも日本でも多くの人々が楽しみました。見たことがある、という人もきっといると思います。このわくわくをもう一度じっくり味わいながら、原作とテレビドラマの違いを探すのも面白いのではないのでしょうか。

by 1 年 3 組 野口 達也

↓ 新着本から、選びました。

「くるくるコンパス」 越谷 オサム 作

最新の新着図書のなかから、本の表紙が面白そうなので選びました。真っ青な表紙に、コンパス、その下に 3 人の男子。それにグリコの看板・カニ・太陽の塔。これは大阪！

裏面の紹介文によると、中学将棋部の男子 3 人が京都への修学旅行中、自由行動の時に大阪に向かい、転校した女の子に会いに行く、というストーリーです。中身も面白そうです。

皆さん、読んでみて下さい。

by 1 年 1 組 大谷 龍和



図書委員が中央研修会へ

図書委員の中央研修会が 12 月 16 日（水）水戸市の県民文化センターにて行われ、本校より 5 名の図書委員が参加しました。

今年度は本校が分科会の一つを担当、「季節の飾り付けで図書館を親しみやすい場所に」というテーマで 他校生と交流しました。詳しくは学校 HP をご覧下さい。



お知らせ

冬期休業中の開館日について

12 月の開館日 & 貸出日

24 日（木）・25 日（金）・28 日（月）

（午前 9 時から午後 3 時まで）

平成 28 年 1 月 4 日から 7 日は閉館です。

「あっ！命の授業」ゴルゴ松本 著

私自身は本を読むのが好きですが、本は苦手と言う人もいます。私が今回紹介する本は、そんな人も気軽に読める本です。

お笑い芸人のゴルゴ松本さんはボランティアで少年院を訪問し、漢字を題材に独特の授業を続けてきました。それが評判となり本になったのがこれです。

「日本語は『愛』で始まり『恩』で終わる。」など、日本語を使っていることが海外の人に自慢できるような言葉がいっぱいです。文字にも工夫があり重要な所には色がつけてあって、さらに重要なところは文字が大きくしてあります。少し笑えて心がすっきりとするこの本を、是非読んでみて下さい。

by 1 年 2 組 岡野 克也



～番外編・私のお勧め雑誌～

雑誌 Seventeen（集英社）

私はファッションに興味があるので、よく Seventeen という雑誌を読みます。

取り上げられているファッションは、原宿系ファッション、渋谷系ファッション、ストリート系ファッションなど様々です。いま何が流行しているか、とても参考になります。

是非みなさんも読んでみて下さい。

by 1 年 4 組 湯上 真記

ファッション好きなあなたに！

ファッション命！の男たちの写真集 「SAPREUR the Gentlemen of Bacongo」 （サプール/ザ・ジェントルメン・オブ・バコンゴ） 写真・ダニエーレ・マニーニ

決して裕福ではないのに、自分の給料の何ヶ月分もの大金と時間をかけ、高級ブランドの衣服を購入。それを身にまとって優雅に街を練り歩く。これがコンゴ共和国発祥のサプールと言われる男たち。彼らの写真集は世界中を魅了した。

サプールは外見以上に本物の紳士の立ち居振る舞いや教養を身につけることを信条にしており、そんな生き方が地元住民からは、ある種のセレブとして尊敬されているんだとか。

貧しいのにもかかわらず、おしやれに命をかけるサプールたちは、バカみたい？ いいえ、そんなことはありません。武器を手にもやみに人を殺すような人たちより、ずっとずっと素晴らしい！